

# 渋谷区地震防災マップ

## (地域の危険度マップ)

**渋谷区地震防災マップ(地域の危険度・揺れやすさマップ)作製の趣旨**  
 渋谷区では、震災時に区民の生命や財産を守るために、地域の危険度・揺れやすさの情報を提供し、事前の備え、迅速な避難を行うため地震防災マップを作製しました  
 このマップは区内の地質やボーリングデータから地表面の揺れやすさを想定したうえで、区内建物全棟を対象に、建物の構造や築年データを基に、外観目視による調査を加え、首都直下地震でM6.9の地震が発生した場合の地表面の震度分布と建物の倒壊危険度をそれぞれ50mメッシュごとに色分けして表示しました。  
 このマップにより、地域の状況を確認し、事前の備え、避難時の行動のために役立ててください。

# 安全なまちづくり

～自分、家族、地域を守る避難と地域協力の流れ～



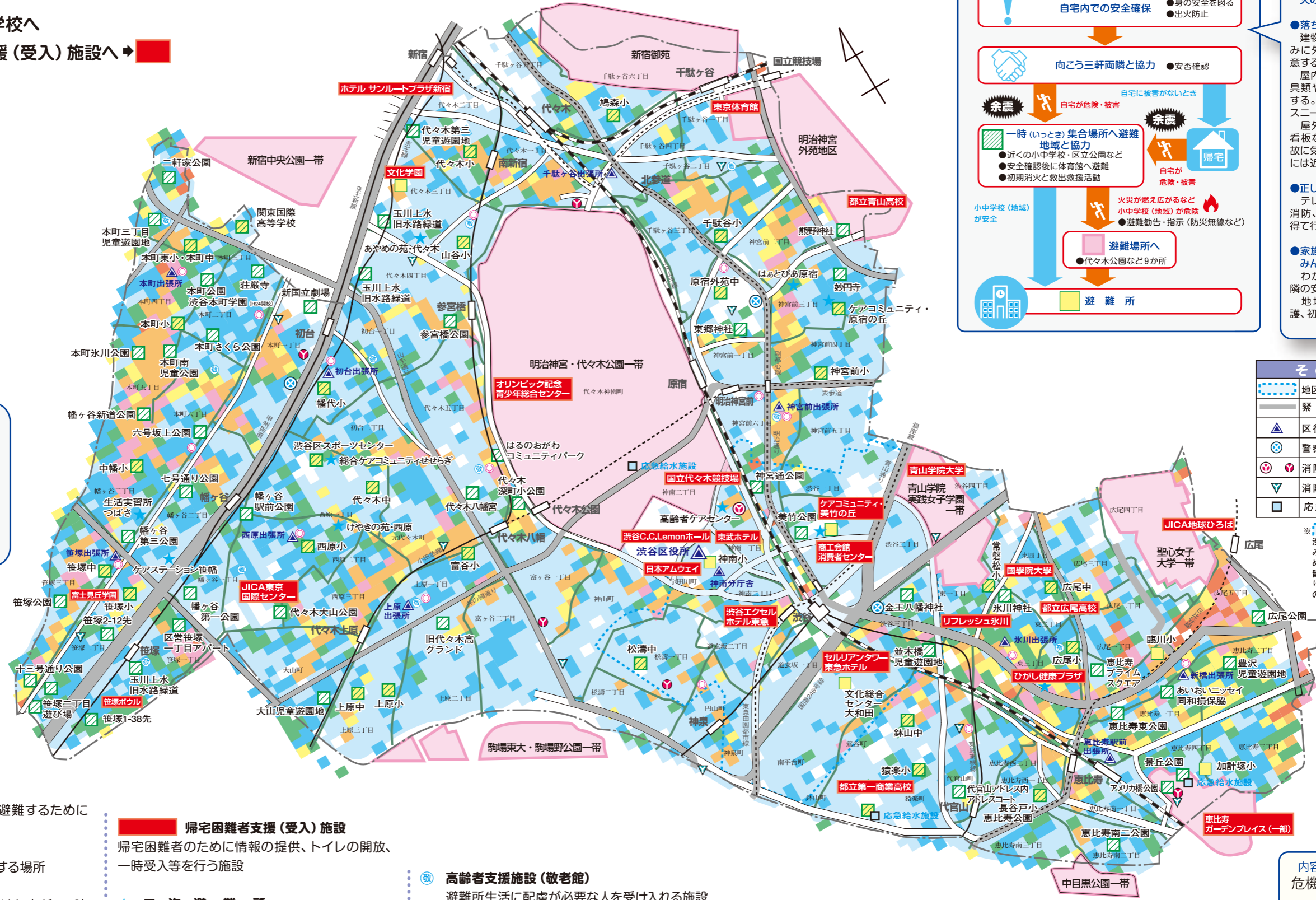
- まず身の安全  
テーブルの下に隠れたり、座布団などで頭を守る。
- 揺れがおさまってから、火の元確認
- 落ち着いてゆっくり行動  
建物が安全なときは、むやみに外に出ない。余震に注意する。  
屋内では転倒・落下した家具類やガラスの破片に注意する。懐中電灯やスリッパ、スニーカーを準備する。  
屋外では、瓦、窓ガラス、看板などの落下や、交通事故に気をつける。門や塀などには近寄らない。
- 正しい情報、確かな行動  
テレビやラジオ、区役所、消防、警察などから情報を得て行動する。
- 家族の安全、隣の安否、みんなで協力  
わが家の安全確認後、近隣の安否も確認する。  
地域で協力し、救出・救護、初期消火をする。

**避難** 区民は近くの区立小中学校へ  
 帰宅困難者は指定の支援(受入)施設へ

お近くの一時集合場所、避難場所、避難所、帰宅困難者支援(受入)施設をご確認ください。

危険度数	危険度	割合
0	危険度0	0%
1	危険度1	0%以上～3%未満
2	危険度2	3%以上～5%未満
3	危険度3	5%以上～7%未満
4	危険度4	7%以上～10%未満
5	危険度5	10%以上～20%未満
6	危険度6	20%以上～30%未満
7	危険度7	30%以上

**地域の危険度マップとは?**  
 揺れやすさマップに表示された震度分布に建物の構造(木造・非木造)と築年データ、さらに外観目視調査による建物の形状・経年指標を考慮した結果、測定された建物の倒壊危険度を50mメッシュごとに7段階に分けて表示したものです。



地区内残留・渋谷地区※
緊急輸送道路
区役所・出張所
警察署
消防署・消防出張所
消防団分団本部
応急給水施設

※ 渋谷駅周辺は建物の不燃化が進み延焼火災の危険性が低いため、東京都によって「地区内残留・渋谷地区」と指定されており、避難場所まで避難する必要のない地域とされています。

- 一時集合場所**  
 災害の様子を見たり、避難場所へ避難するために一時的に集合する場所
- 避難場所**  
 延焼火災やその他の危険から避難する場所
- 避難所**  
 家屋の倒壊や焼失などで被害を受けた人が、一時的に生活する場所
- 一時集合場所・避難所**

- 帰宅困難者支援(受入)施設**  
 帰宅困難者のために情報の提供、トイレの開放、一時受入等を行う施設
- 高齢者支援施設(敬老館)**  
 避難所生活に配慮が必要な人を受け入れる施設
- 避難所補完施設(区民会館などの区民施設)**  
 少人数用の避難施設
- 二次避難所**  
 避難所に避難した被災者のうち介護が必要とされる高齢者、障害者等を受け入れる場所

内容に関する問い合わせ  
 危機管理対策部防災課  
 ☎3463-1589